

下関市立大学 地域共創研究報告会

研究テーマ

関門地域立地企業の地域的展開に関する研究

—報告概要—

関門地域は、江戸時代には西廻り航路(北前船)の中継基地や九州への諸街道の結節点として栄え、明治時代以降も鉄道路線の延伸や連絡船の就航などに伴い交通の要衝として栄えるとともに、重化学工業の工業地帯としての整備も進み、商工業の繁栄を遂げてきた地域である。下関および北九州の関門地域に立地している企業には、事業展開に伴って、全国的な企業へと成長を遂げていった企業も少なくない。そのような企業の中には、現在でも関門地域に拠点を置き全国的な事業を行っている企業がある一方で、関門地域を創業地として位置付けながらも東京や大阪などに進出していった企業もある。

本研究では、関門地域立地企業の地域的展開について、第1に、企業各社の事業展開に伴う企業内地域間分業関係の構築過程を考察した。第2に、企業活動の展開に伴って地域に残されてきたリソースの活用について、類似した港湾都市を参考に検討した。



Satoheba Daisuke

外栢保 大介

経済学部 経済学科 准教授



Namba Toshimitsu

難波 利光

経済学部 経済学科 教授

- ◆ 日時：6月4日(木) 16:30~17:30(質疑応答含む)
- ◆ 場所：下関市立大学本館Ⅱ-301教室
- ◆ 参加費：無料

- ◆ 駐車場に限りがございますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

◆お問い合わせ先◆

下関市立大学附属地域共創センター

TEL 083-254-8613

住所 下関市大学町2丁目1番1号

E-mail: chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp